

e&e REPORT

No.108

発行日 2010年10月29日
 川崎市中原区市ノ坪223-4-515
 電話/FAX 044-434-7291
 メール miyamoto@d03.itscom.net

E&Eレポートは、企業・国・海外の省エネや環境情報を、少しでも皆様にお届けしたいという思いから、毎月発行しているニュースレターです。地球温暖化防止にお役立て頂ければ幸いです。

Topic 企業動向

●三機工業がCO2削減提案の成果をポイント化し、環境保全活動に寄付する制度を発足。

自社の行った設備工事で省エネルギーを実現した場合、削減量を独自のポイント(CO2削減1トンにつき100円)に換算して、年間を通して全社集計し、環境保全の非営利活動へ寄付していくなどの助成を行うというもの。

今年度は、省エネルギー提案件数400件、CO2として130,000トン(寄付額換算で1300万円)の削減提案を目標にしている。

「建築設備フォーラム」

📖 宮本一言メモ **CSRと営業活動をうまく組み合わせている。**

●大ガス、発電機能付きGHP活用で太陽光の出力安定化実験

京都市サードパークが運営する賃貸オフィスビルに、太陽光発電システム(出力9kW)とGHP8台を設置。合計8kWを太陽光発電の出力の調整に活用する。実験の期間は1年。受電電力と太陽光発電を計測し、オフィスの照明に必要な補完電力を計算し、必要な電力に応じてGHPの発電を増やすなどの制御を行う。またGHPで不足する場合は、照明の明るさも調整する。

実証実験では二酸化炭素(CO2)削減などのメリットも検証し、太陽光発電と発電機能付きGHPのダブル発電システムとして商品化を目指す。

「日刊工業新聞」

📖 宮本一言メモ **スマートグリッドに組み込む狙い?**

●静岡県で、県内企業同士で初 CO2排出権取引

今回の取引で静岡ガスは、静岡市内の食品会社と電気メッキ加工会社の2社の重油ボイラーを都市ガスに転換する技術を提供。計371トンのCO2排出を抑制でき、このうち40トン分を静岡に売却した。静岡はこれまで削減できなかった分を、排出権購入で埋め合わせる。静岡ガスは「国内クレジットの地産地消が実現できた」としている。

「産経新聞」

📖 宮本一言メモ **CO2取引の価格が気になる。投資回収は何年?**

●日本イミックが75kWの大型エコキュートを投入

大型業務用エコキュートの類似クラスでは最小・最軽量、省スペースのコンパクト設計とし、従来の30キロワット機と比較すると、1台当たりの加熱能力を2.5倍に向上させつつ、設置スペースは1.2倍程度に抑えた。COPは4.0と同等水準。貯湯タンクは密閉式で、標準容量は4800リットル、6000リットルの2種類。直結給水方式への接続も可能な仕様もそえる。

「日刊工業新聞」

📖 宮本一言メモ **エコキュートの産業分野での用途開拓が今後必要。**

●コロナ、省エネ住宅を1棟まるごと暖めるヒートポンプ式の温水暖房システムを発売。

省エネ住宅を1棟まるごと暖めることができるように、暖房出力は11.6kWまで高められており、床暖房、温水ルームヒーター、パネルコンベクター等、幅広い暖房端末で使用することができる。室外ユニットには凍結防止ヒーター内蔵モデルもラインアップされ、外気温がマイナス25°Cの環境下でも適応可能で、低温時の補助熱源として、別売品のヒーターユニット(2kW)を取り付けできる。また、循環ポンプユニットは密閉配管式と半密閉配管式を設定し、2機種4モデルから選択できる。

「ニュースリリース」

📖 宮本一言メモ **住宅分野は機器の効率化と同じくらい人の果たす役割が大きい。**

●伊藤忠、シスコとエネルギー管理事業で提携

工場やオフィスビルの空調や照明設備のエネルギー管理サービスにシスコの技術を加え、IT機器を含めて一括で管理できるようにする。年内に都内のオフィスビルなどで実証試験を行い、2011年1月をめどにサービスを始める予定。改正省エネルギー法の施行を背景に高まる企業の省エネ・省コスト活動を後押しする。

伊藤忠のクラウド型エネルギー管理サービス「エコフォルテ」に、シスコのIT機器を自動制御する技術を加えた「エコフォルテ-CRE」を共同で開発・販売する。シスコのルーター(中継機)を通じて、空調や照明のほかパソコンやプリンターなどIT機器の監視・制御が可能になる。IT機器の電力使用量を従来比20~30%削減できるという。月額利用料は店舗など小規模施設で2万~3万円から。

📖 宮本一言メモ **システム統合でIT機器の省エネに本当に効果が出るのか?**

「日刊工業新聞」

●パナソニック、排熱を蓄えて暖房に使うエアコンを発売

排熱を蓄えて暖房に利用する方法は「エネチャージシステム」と名付けた。新しく開発した蓄熱ユニットを備え、蓄熱交換器によってエアコンの排熱をエネルギーに変えて蓄積。温風スタート時にはこのエネルギーを使う。吹き出し温度は、従来のエアコンが約23°Cだったのに比べ、約50°Cと大きく上昇した。

蓄えた熱は、室外機の熱交換器に付いた霜を溶かす霜取り運転にも利用する。従来機では暖房を一時止めて霜を取るため、その間温風が止まって室温が5~6°C低下していたが、蓄えた熱で霜を取りながら暖房する方法を実現した。霜取り時の温度低下は、1~2°C程度に抑えられる。

「ECO JAPAN」

📖 宮本一言メモ **排熱の蓄熱は効果がエネルギー効率アップにつながる。**

●旭化成建材が断熱性が2～5割高い床材を開発

床の下に敷く骨組みの間に敷き詰めて使う。壁などの断熱材を改良。内部に断熱ガスを閉じ込めた気泡を含むことから断熱性が高く、厚さを45mmに抑えることに成功。床に使いやすくなるため、原料の配分も調整、柔らかさを持たせた。軸組工法による木造住宅の場合、骨組みの厚みは45mmが一般的。しかし、省エネ住宅の最高クラスを取得する場合、45mmを超える場合が多く、床下の高さの再調節するなどの手間がかかっていた。

☑ 宮本一言メモ **住宅の断熱、遮熱はますます重要になる。**

「日経産業新聞」

ToPic 国・地方自治体動向

●グリーン証書を温対法に反映 エネ庁が検討開始

グリーン電力証書を地球温暖化対策推進法(温対法)の算定・報告・公表制度で二酸化炭素(CO2)排出削減量として盛り込むための検討に着手した。エネ庁委託調査事業として外部機関に有識者からなる検討会を設置、認証スキームや対象範囲、認証基準、CO2削減量の換算係数などについて年内をめどに検討結果をまとめる。温対法では今年3月の告示で、国内クレジット、オフセット・クレジット(J-VER)両制度でのCO2排出削減量が新たに算定対象となった一方、グリーン電力証書は対象として明記されなかった。エネ庁は国の委託事業として公的な認証体制を構築することで温対法への反映を目指し、再エネの普及拡大に務める構えだ。検討を進める委員会は「グリーンエネルギー認証運営委員会」

☑ 宮本一言メモ **熱も含めて早くルール化することがグリーン電力/熱証書の普及を加速する。**

「電気新聞」

●中小企業の省エネ対策促進を目指す「大阪版カーボン・オフセット制度」

府内の中小企業の省エネルギー対策を推進するため、省エネ努力で生まれた「CO2排出削減量」(以下「クレジット」)を大企業との間で売買することを仲介する「大阪版カーボン・オフセット制度」を2009年に創設した。大阪府はこの制度を最初に活用する事業者が、環境省へオフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく「クレジット」の申請をすと発表し、大阪府は今後、クレジットの買い手を探していく考え。「大阪版カーボン・オフセット制度」では、売り手(中小事業者)のニーズと買い手(大規模事業者等)のニーズをマッチングする大阪府独自の仲介機関。大阪府と大阪府地球温暖化防止活動推進センターが連携して設置・運営している。

☑ 宮本一言メモ **全国規模より、地域で取引をすることで、周囲の認識が高まる。**

「JFS News」

●経済産業省は、排出量取引で独自案検討。環境省に対案。

温暖化対策の重要施策と位置付ける国内排出量取引について、個別企業の実態を踏まえて、現実的な削減目標を積み上げる「ボトムアップ型」の制度設計に着手する。産業界が近く公表する13年以降の自主行動計画をベースに、事業者が自ら設定した目標を国に申請。国が審査・認定を行うスキームを検討している。国全体の削減総量にもとづき、企業ごとに排出枠を割り当てる「トップダウン型」の制度を志向する環境省への対案として打ち出す狙いがある。産業界構造審議会の政策手法ワーキンググループを開き、ボトムアップ型の目標設定や、評価・検証のあり方に関する検討を開始する。11月中をめどに経産省として制度案をまとめる。

☑ 宮本一言メモ **非常に無駄を感じる。**

「電気新聞」

ToPic 展示会情報

●日経住まいのリフォーム博2010(第6回) <http://sumai.nikkei.co.jp/reform/reformhaku/>

生活者をターゲットにした、リフォームの最新情報を比較・検討できるイベント

開催日 : 2010年11月12日(金)～14日(日)

場所 : 東京ビッグサイト

料金 : 無料

主催 : (株)日本経済新聞社

連絡先 : 日本経済新聞社 文化事業局 イベント事業部 Tel :03-6256-7355 Fax :03-6256-7844

●「省エネESCOフェア2010」(仮称)

セミナーも開催。出展企業・自治体による導入事例紹介やESCO事業者と金融機関の連携の現状等を予定。

開催日 : 2010年11月26日(金)

場所 : ベルサール新宿

料金 : 無料 セミナー参加希望の場合は申し込みが必要。

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=ndk-lfmb5-2464302b3438b5bc0d0ad742465e8832>

主催者 : 関東経済産業局、一般社団法人ESCO推進協議会

連絡先 : 関東経済産業局事業委託先 株式会社リサイクルワン TEL:03-5774-0600 FAX:03-5774-0601

後記 財布の中身とゲン担ぎ

「ヨリモ」

■日頃どのくらいの現金を財布に入れている？

所持金は1～3万円が半数でトップ。次いで「1万円未満」。

■財布が膨らむのは？

最も多かったのは「ポイントカードや会員カードなど」で、男女ともにトップ。

■ゲン担ぎ

- ・札を逆さまに入れているとお金が増えると言われて実行しています。
- ・赤い財布を使っていたけど「赤い財布はお金がアカンペーして出ていくから散財しやすい」と言われてやめた。
- ・財布は、自分で買うものではないと、教えられました。人を買ってもらわないと、お金が増えないそうです。
- ・お金が入って来る財布と出て行く財布があるようです。

☑ 宮本一言メモ **お札で財布を膨らませてみたいです。**

日頃、どのくらいの現金を財布に入れていますか？

1万円以上3万円未満	3852人
1万円未満	2491人
3万円以上5万円未満	932人
5万円以上10万円未満	346人
10万円以上	77人

財布の中に、何が増えてしまっていますか。3つまで選んでください。

女性		男性	
ポイントカードや会員カードなど	2840人	ポイントカードや会員カードなど	3379人
レシートや領収書など	1853人	キャッシュカードやクレジットカードなど	2468人
小銭	1421人	小銭	1544人
キャッシュカードやクレジットカードなど	1282人	レシートや領収書など	1258人